309

(1)

シリンダー内の圧力をP、大気圧を P_0 、おもりの質量をm'とすると、おもりは $\frac{m'g}{s}$ の圧力でシリンダーを押している。

シリンダー部分で圧力が釣り合っているので、

$$P = P_0 + \frac{m'g}{s} \, \sharp \mathfrak{H},$$

$$P_0=1.0\times 10^5 Pa$$
 , $m'=20kg$, $g=9.8\, {m/_{S^2}}$, $S=4.0\times 10^{-3}\, m^2$

を代入して、

$$P = 1.0 \times 10^5 + \frac{20.9.8}{4.0 \times 10^{-3}}$$
$$= 1.49 \times 10^5 Pa$$

(2)

$$W=P\Delta V$$
 より、 (気体の仕事の式)
$$P=1.49\times 10^5 Pa \ , \ \Delta V=S\Delta l=(4.0\times 10^{-3})\cdot 0.8\ m^3$$
 を代入して、
$$W=(1.49\times 10^5)\cdot (4.0\times 10^{-3})\cdot 0.8$$

$$=477 J$$

(3)

$$\Delta U = Q + W$$
 より、 (熱力学第 1 法則)
$$Q = 2100J \ , \ W = -477J \ (気体に加える仕事を正としている)$$
 を代入して、
$$\Delta U = 2100 - 477$$

$$= 1623J$$

(4)

気体は『ピストンを押しのける仕事W'』と『ばねの位置エネルギーを増加させる仕事U』をしたので、